

活動報告レポート

アドバイザー氏名	黒須 利光 (共同アドバイザー) 榎本 建七
実施日、時間	令和 4 年 5 月 23 日 (月) 10:45 ~ 12:20
実施団体	さいたま市立河合小学校 3 年 1 組
対象者 (人数)	26 名
実施場所	赤坂沼、学校田んぼ、平林寺グランド
講座等の名称	赤坂沼生き物観察・探検
講座等の分野※	①自然への愛着
活動内容及び 受講者の反応	<ul style="list-style-type: none">・赤坂沼に外国から来た木 (スズカケノキ) が何故大きくなったのか調べたい。・赤坂沼に多くの生き物がいたのでびっくりした。自然がいっぱいあるからなのかなと思った。・赤坂沼でいろいろな生き物に、会えたり、触れられたりしてよかった。 <p>初めて、チョウチョウを捕まえられたが、トンボは動きが速く捕まえられなかった。</p> <p>ドジョウも初めてさわったがヌルヌルして気持ちよかった。また行きたい。</p>

活動写真



赤坂沼



学校田んぼ



平林寺グランド

活動報告レポート

アドバイザー氏名	澤村 邦夫
実施日、時間	令和4年5月26日(木) 10:30 ~ 12:10
実施団体	幸手市立幸手小学校 4年生
対象者(人数)	42名
実施場所	校内
講座等の名称	身近な生き物を調べよう
講座等の分野※	①自然への愛着
活動内容及び 受講者の反応	本講座は10年以上継続しており、コロナ禍で3年ぶりの開催。田んぼからのホウネンエビ(安全面からスタッフが捕獲)と児童が校庭から採取した草花を観察。従来は、一方的な講座であったが、今年度から児童(全員がアイパッド所有)が、先ず自分達で調べる(ホウネンエビの特徴、草花の名称、似た草花の違い等)ことが中心となるようにし(探求心を付ける)、スタッフはQ&A式で支援役を果たすように努めた。観察会終了後、スタッフから、動画で「ホウネンエビの一生」、PPTで「生態系ピラミッド」の話、児童から感想発表、学校側から今後の方針・計画があり終了。

活動写真





活動報告レポート

アドバイザー氏名	篠原 吉則
実施日、時間	令和 4 年 8 月 4 日 (木) 10:00~11:30
実施団体	加須市環境安全部環境政策課
対象者 (人数)	小学生 20 名 および その保護者
実施場所	浮野の里
講座等の名称	昆虫観察会
講座等の分野※	①自然への愛着
活動内容及び 受講者の反応	<p>・昆虫採取達人手帳を全員配付し、まず初めに昆虫採集のやり方について指導、各場所で昆虫観察と採取を行った。(くぬぎ林、草地、水辺)・最後に昆虫採取のまとめを全員で行い参加者全員を昆虫採取の達人に認定した。昆虫は約 40 種を採取でき、喜んでもらった。</p> <p>当日の活動は、テレビ埼玉で放送された(Youtube で配信中)</p>

活動写真

こんちゅうさいしゅう
 たつしんてちょう
 れいわねん
 8がつよっか
 うきやのさと
 なまえ

1.ほうほう・やりかた
 ①てでとる
 せみのから、あるくむし
 ②あみをつかう
 ③そのた

2.くぬぎ にいる むし

昆虫は、その生態や習性によって、さまざまな役割を果たしています。また、中には有害な昆虫も存在します。その生態や習性を理解し、適切に対処することが大切です。

すずめばち ちゅうい

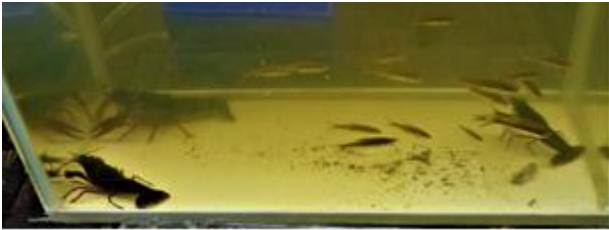
にんていしよ
 あなたを
 むしとりめいじんに
 にんていします。
 れいわねん
 8がつよっか



活動報告レポート

アドバイザー氏名	篠原 吉則
実施日、時間	令和 4 年 8 月 5 日 (金) 10:00~11:30
実施団体	加須市環境安全部環境政策課
対象者 (人数)	小学生 20 名 および その保護者
実施場所	浮野の里
講座等の名称	水生生物観察会
講座等の分野※	①自然への愛着
活動内容及び 受講者の反応	<ul style="list-style-type: none">• 水生生物観察のワークシート(次頁)を全員配付し、まず初めに水質調査を指導、4箇所水生生物を採取、観察を行った。• 参加者全員に湿地と用水路で水生生物や昆虫の採取を実施。• まとめを全員で行い参加者を加須の環境を守る人に認定した。 <p>各人に採取を行ってもらえたので喜んでもらったと思う。</p> <ul style="list-style-type: none">• 今回は、アメリカザリガニが非常に多く、他にモツゴやエビが少して生物多様性に欠ける結果

活動写真



活動報告レポート

アドバイザー氏名	荒木 三郎
実施日、時間	令和 4 年 5 月 23 日 (月) 10:00 ~ 10:50
実施団体	上尾市立平方北小学校
対象者 (人数)	小学 3 年生 30 名
実施場所	校内の野鳥の森・ビオトープなど
講座等の名称	校内の自然観察・春期
講座等の分野※	自然への愛着
活動内容及び 受講者の反応	<p>3年生の総合学習の授業、学校内の自然について観察・解説を行いました。</p> <p>ビオトープでは希少種、サクラソウ・ノウルシ・チョウジソウなど春の植物の解説、 埼玉県のチョウ、ミドリシジミの食草であるハンノキを解説し将来は荒川からミドリシジミがハンノキに産卵に来ることを期待する。</p> <p>野鳥の森では先輩たちが設置した巣箱にシジュウカラが営巢していることを観察する。</p> <p>中庭でジャコウアゲハを育てるための食草、ウマノスズクサの観察とジャコウアゲハの幼虫の観察を行う、小学校では珍しいクズの草原でキリギリス・クツワムシを試験的に育てていることから葉の上にいる幼虫に触れてみて観察を行いました。子供、先生は大喜びでした。</p>

活動写真



活動報告レポート

アドバイザー氏名	荒木 三郎
実施日、時間	令和 4 年 6 月 4 日（土） 8：30 ～ 10：30
実施団体	上尾市立大石北小学校
対象者（人数）	環境委員と家族 25 名
実施場所	学校ビオトープ
講座等の名称	ビオトープの清掃と生き物観察
講座等の分野※	自然への愛着
活動内容及び 受講者の反応	<p>環境委員会と家族を対象に自由参加でビオトープの水を抜き清掃作業を行いました、昨年も行いましたが給水ポンプの故障で水の汚れがありました。</p> <p>水を抜きながら魚・ヤゴ・貝類・エビ類・水草の観察と解説を行いました。</p> <p>最後にビオトープの必要性や草原の希少植物や秋の七草を眼で見て観察・解説を行いました。</p> <p>子供たちは泥んこになりましたが作業を楽しんでいました。</p>

活動写真



活動報告レポート

アドバイザー氏名	向笠 肇(実施については越谷アリタキ緑の会のガイド班メンバーが主体)
実施日、時間	令和4年10月20日(木) 9:30 ~ 11:00 10月21日(金)、10月26日(水)
実施団体	越谷アリタキ緑の会(会員数70名) 10/20 越ヶ谷小学校(1年生)、10/21 東越谷小学校(1年生)、 10/21 午後 大沢北小学校(3年生)、10/26 西方小学校(2年生)
対象者(人数)	小学校 計4名 335名
実施場所	越谷アリタキ植物園
講座等の名称	2022年、秋の自然を楽しもう(自然触れ合い教室)
講座等の分野※	①自然への愛着
活動内容及び 受講者の反応	小学1~3年生を対象に、自然に親しみ、生き物と共生するまちづくり・SDGs・ESD教育を意識しながら、たくましく生きる術を学べられるような、植物・樹木の触れ合い体験教室です。 学校側とも協議しながら、校外学習を展開して9年目、参加校は延べ40校、4千名余に上る。 後日、親子で訪れる小学生のリピーターもいます。親に自慢げに説明している子どもたちは未来のインタープリターです。私たちの活動の糧になっています。

活動写真



活動報告レポート

アドバイザー氏名	吉田 俊彦
実施日、時間	令和4年8月19日(金) 15:00 ~ 19:00
実施団体	NPO法人 AIKURU
対象者(人数)	15名
実施場所	入間市高倉、豊隆橋付近の霞川
講座等の名称	～AIKURU FREE BASE 釣り大会～
講座等の分野※	自然への愛着、学童水辺体験
活動内容及び 受講者の反応	<p>AIKURU FREE BASEとは、中学生以上の若者居場所。毎週金曜日17時から21時、子育て支援センターあいくるを開放し、自分たちの手で居心地の良い居場所を作る事業。若者自身が「やりたいを自分達の手で実現する企画」として釣り大会が実施された。今回、講師をお願いしたのは埼玉県及び入間市環境アドバイザーの吉田俊彦氏。参加者全員が「オイカワ」を釣りあげ、水槽で観察する時間も設けられた。また若者達にぜひとも「命をいただく」ことも知ってもらいたく、釣ったオイカワをその場で天婦羅にして頂いた。自分で釣ったオイカワを自分の手でさばき、はらわたを出す若者達。恐々作業しながら「まだピクピク動いてる!」「浮袋があったよ」「さっきまで泳いでたのに」「美味しく食べることはこの魚にとって幸せなのかな?」等など様々な声が上がった。傍にいた大人から「みんなが食べてるものの多くは、こうやって誰かの命を頂いているんだね…」という声もかかり、若者達が考え込む場面も。出来上がった天婦羅は「美味しい」「美味しい」と感激しながらありがたく頂いた。生まれ育つ地域の自然で楽しく遊び、美味しく頂き、その環境が好きになる。好きな気持ちで故郷の自然を「大切に」思う気持ちが育まれるのだと思う。(文、村野裕子)</p>

活動写真



活動報告レポート

アドバイザー氏名	荒木 三郎
実施日、時間	令和5年2月11日(土) 9:30 ~ 11:30
実施団体	サイサン環境保全基金
対象者(人数)	上尾市立富士見小学校他4校の小学生と家族 25名
実施場所	三つ又沼ビオトープ
講座等の名称	子供たちと自然をつなぐ体験活動プロジェクト
講座等の分野※	①自然への愛着
活動内容及び 受講者の反応	<p>荒川の三つ又沼ビオトープ、草花を育てようプロジェクトや荒川の生き物博士を育てるプロジェクトの対象校、上尾市・川島町の小学校高学年、環境委員会活動に参加している子供たちと家族を対象に活動を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none">・三つ又沼ビオトープにカワラナデシコの苗を移植する。・草原に侵入してきた竹の伐採・片付け作業・ニホンアカガエルの産卵場所水辺作り・自然観察会 フィールドサイン探し 生き物探し <p>雪の中でも楽しい作業、観察会でした。</p>

活動写真



カワラナデシコの移植作業

活動報告レポート

アドバイザー氏名	高村 裕美
実施日、時間	令和5年1月26日(木) 13:40 ~ 14:25
実施団体	上尾市立中央小学校 特別支援学級
対象者(人数)	12名
実施場所	上尾市立中央小学校 特別支援学級 教室
講座等の名称	虫と私たちの生活
講座等の分野※	①自然への愛着
活動内容及び 受講者の反応	特別支援学級総合科単元の学習として、1組と2組合同で1コマ(45分)の授業を行いました。児童は、蝶や蜂などの写真を見て「見たことある!」「知っている!」と、とても興味を持ち聞いていました。虫が花粉を運び植物が実をつけることで人間の食べ物や服(綿)ができること、土の中にいる微生物や小さな虫が土を豊かにして植物が栄養をもらい成長することを伝えました。授業後の感想には、「むしはたいせつ」「いろんなひとに生物をたいせつにしてほしい」「虫がいなくなったら植物がそだたないことがわかった」「むしはすごい」「虫がかつやくしているから人がげんきにいられる」等、昆虫と人間との関係を理解して、虫に愛着を持った声が多数ありました。

活動写真

特別支援学級 環境学習 1月26日(木)

